

事務 事業名	コード1	42900	総合体育館管理費	事業 種別	☐ 国土強靱化地域計画	課	体育振興課				
	コード2				☐ 新市建設計画	所属班	体育施設班				
施策 体系	施策	6	スポーツの振興		☐ 総合戦略	電話番号	64-1101	内線			
		施策の展開	14		スポーツ施設の維持管理	☐ 復興計画	予算 科目	会計		款	項
						☐ 定住自立圏構想	一般会計		10	5	2
					☐ 行政改革アクションプラン	根拠 法令	地方自治法第244条、旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例				
			☐ 主要事業								
			☐ 簡易評価								

1 現状把握(Do)

1 現状把握(Do)

(1)事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 9 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	総合体育館、スポーツ公園内の野球場・庭球場等の公園内施設、弓道場の維持管理業務。(弓道場は弓道協会に管理を依頼)健康づくり推進事業(軽体操・レディースゴルフ等スポーツの講座)への場所の提供。 【使用申請受付】 ①インターネットによる使用申込受付②電話・来館による受付 (大会の予定は前年度から利用の調整が行われ年間で決定。その他2ヵ月前から申請可能。個人利用は当日のみ利用許可。インターネットの抽選による申請は市民を優先。) 【業務の流れ】 ・施設の使用許可に関する業務(使用許可申請及び使用料の徴収等) ・施設の維持管理に関する業務(臨時職員雇用等、トイレ清掃業務委託、施設修繕業務等)

(2)トータルコスト

① 費目の内訳(26年度の実績)		単位:千円	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
1.臨時雇賃金	11,935	臨時雇賃金	千円	11,787	11,856	11,935	12,713
2.需用費	24,601	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費	千円	23,757	23,931	24,601	26,828
3.委託料	16,404	清掃委託料、公園維持管理委託料等	千円	18,237	15,742	16,404	16,627
4.役務費	854	通信運搬費、手数料、保険料	千円	805	1,049	854	1,135
5.その他	4,125	放送受信料、機械借上料、原材料費	千円	3,250	2,846	4,125	4,665
② 特定財源の内訳(26年度の実績)		単位:千円	事業費計(A)	千円	57,836	55,424	57,919
1.国庫支出金	0		千円				
2.都道府県支出金	0		千円				
3.地方債	0		千円				
4.その他	14,923	使用料	千円	13,962	14,785	14,923	14,572
前年度比増減理由:総合体育館防犯カメラ設置に伴う増			千円	43,874	40,639	42,996	47,396
③ 延べ業務時間の内訳(26年度の実績)		単位:時間	正規職員従事人数	人	2.00	2.00	2.00
・維持管理業務に2030時間 ・利用許可に2000時間			延べ業務時間	時間	4,030	4,030	4,030
			人件費計(B)	千円	15,314	15,314	15,314
			トータルコスト(A)+(B)	千円	73,150	70,738	73,233

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	⑤ 活動指標名	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
	26年度実績(26年度に行った主な活動) 施設の維持管理、利用者の予約受付 施設の貸出し 料金徴収		ア 使用料	千円	16,561	17,669	18,018	14,572
目的	27年度計画(27年度に計画している主な活動) 施設の維持管理、利用者の予約受付 施設の貸出し 料金徴収		イ 修繕費	千円	5,997	2,990	4,332	5,289
			ウ					
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⇒	⑥ 対象指標名	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
	市民		ア 人口(4月1日現在)	人	69,223	68,725	68,241	67,819
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
	スポーツへの参加を動機つける。		ア 利用者数 (総合体育館、野球場、庭球場、弓道場、トレーニングルーム)	人	119,512	121,168	122,293	130,000
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⇒	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
	市民が運動習慣を通じて体力が向上する(スポーツ技術の向上、交流の促進)		ア 市内スポーツ施設の延べ利用者数	人	157,214	169,787	177,903	182,000
				運動習慣が身につけている市民の割合	%	未把握	未把握	未把握

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
旧旭市において平成9年に生涯スポーツの普及を図るため設置した。	合併10年となり5年前と比較して住民への周知が進み利用者やその活動内容が多様化したと考えられる。	大きな大会等での駐車場の不足

事務事業名	総合体育館管理費	課名	体育振興課	班名	体育施設班
-------	----------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 施設の提供と維持管理等のサービスの充実は上位目的に結びつく。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 運動をしたいと希望する人達を積極的に受け入れる。市民の運動への参加を動機づける。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 市の施設であり規模が大きいので妥当である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 体育館の他に庭球場・野球場・芝生の広場等もあり1カ所に集中しておりこうした面でも近隣市と比較し有効に活用している。近隣市からの利用者が比較的多いのは当施設の設備の充実等によるものと考えられる。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 現時点での活動量は最大量の状態と言っても良い。休館日の開館などは施設の管理上困難である。施設の管理では空調機器の増設も考えられるが。維持管理に重点を置くようになる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (1) 事務事業名：(社会体育施設管理費、社会体育施設改修事業) (2) ☒ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 各施設の過去の所管課の違い等から別事業となっているが、既に連携して事業を実施している。但し、今後一本化して事業を行うことは可能である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 施設の故障等の増加が見込まれる中、削減の余地はほとんど無い。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事務や管理等の業務に関して内容を熟知した人の必要性が高いのでその余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 旭市使用料及び手数料に関する条例の規定により利用者から使用料を徴収している。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	統廃合について、市内で社会体育の体育館は当施設と飯岡体育館だけなので需用が減少しない現状では有効に活用することを考えたい。庭球場は他地区の庭球場も利用できるため老朽化が目立つコートなどを部分的に廃止するなど考えたい。施設の維持管理については優先度を考えて行いたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1)今後の事業の方向性(複数選択可)※2～3年後を目処にした方向性 ☐ 目的再設定 ☒ 事業のやり方改善による成果向上 ☒ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 廃止・休止 ☐ 行政関与の見直し ☐ 事業統廃合・連携(関連事業:) ☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 費用負担の適正化			(3)改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(2)改革改善案について※いつまでに、なにを、どうするのか? <table><tr><td>いつまでに</td><td>なにを、どうするのか?</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>空いている時間帯の利用の促進や連携している健康づくり事業をPRするための広報活動の実施。</td></tr></table>		いつまでに	なにを、どうするのか?	平成28年度	空いている時間帯の利用の促進や連携している健康づくり事業をPRするための広報活動の実施。																			
いつまでに	なにを、どうするのか?																							
平成28年度	空いている時間帯の利用の促進や連携している健康づくり事業をPRするための広報活動の実施。																							
(4)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 広報活動の充実には支出の増加を伴うが小さなチラシ(A5サイズ)を配布したりして支出を抑える。また現状の設備等をそのままPRする。																								